

豊明市、日進市で

柿が出荷ピークを迎える！

J Aあいち尾東（日進市/代表理事組合長：市川耕一）管内である、豊明市、日進市で柿が出荷ピークを迎えています。豊明市の徳田地区で柿の生産を行う徳田柿組合は、主に次郎柿を栽培しており、名古屋市の市場へ出荷しています。また、日進市では同J Aの出資法人（株）尾東農産が次郎柿・富有柿を栽培しており、同J Aの産直施設へ出荷しています。

【豊明地域】 徳田柿組合は、豊明市徳田町にある約3ヘクタールの畑で次郎柿や富有柿を栽培しています。現在は7名で活動しており、昨年度は市場へ約8,500kg出荷しました。今年は、猛暑の影響で日焼け果被害が多くなってしまいましたが、“なり年”（柿は隔年で収量が変わる。“なり年”は収量が多い年のこと）のため収穫量は昨年度よりも増える見込みです。

10月21日に目揃え会、22日に畑の審査を行い、今年度の出荷規格を確認しました。



徳田柿組合では、年に数回、講師を招いて摘蕾や剪定の指導会を行い、品質向上に努めています。

完全甘柿の次郎柿と富有柿

柿には、甘柿と渋柿があり、甘柿の中でも「完全甘柿」「不完全甘柿」に分けられます。完全甘柿は甘みが強いのが特徴です。

次郎柿…四角ばった形が特徴で、固くカリッとした食感です。

富有柿…甘柿の王様と呼ばれており、甘みが強く、果肉の柔らかい柿です。

【日進地域】

J Aあいち尾東の出資法人（株）尾東農産が約15アールで次郎柿・富有柿を栽培しており、同J Aの産直施設や、インショップへ出荷しています。昨年度は2t（約1万500個ほど）の柿を収穫しました。今年度は、カメムシの被害が多かったものの、収穫量は昨年度と同じ程度です。

取材は都度受け付けます。取材にお越しいただく際にはご一報ください。

取材日：収穫時期の10月下旬～11月末まで取材を受け付けております。

次郎柿は10月中旬～11月上旬頃・富有柿は10月末～11月末頃までが収穫期です。

収穫・出荷（袋詰め）の様子を取材いただけます。

場所：生産者の畑

〈問い合わせ先〉J Aあいち尾東 総務企画部 総合企画課（担当：新家・濱西）

T E L : 0561-56-0080 F A X : 0561-72-8151 E - mail: kikaku@jaab.or.jp

